

(岐阜県)

- 住所：〒509-3538 大野郡宮村6419-2 TEL.0577-53-2663 FAX.0577-53-2663
- 設立：平成9年7月 ■組合員数：5人 ■組合従業員：4人 ■専従理事：1人
- 出資金：300万円 ■地区：高山市、大野郡、山県郡 ■組織形態：異業種型組合
- 業種：育林業、素材生産業、製材業

## 市場が求める商品の提供は、どんな宣伝方法にも勝る

「セラミック炭」の開発とそれを利用した最終市場製品の商品化は、環境問題、エコ社会、ヘルシーライフ指向等の追い風を受け、市場ニーズを迅速に捕らえた。

### ■設立の経緯

組合員事業所において発生していた、間伐材や端材、おがくず等の大部分は、産業廃棄物として処理されていた。それら廃棄物の量、処理コスト等の削減のため、廃棄物の有効利用手段について模索していた現在の組合員5名は、地元自治体や研究機関等の指導もあって、間伐材等から「セラミック炭」の開発に成功。その加工と販売を共同で行うことを目的とし組合を設立した。

### ■事業の概要

組合員は間伐材や端材、おがくず等を組合へ供給し、組合は供給された原料を組合工場で「セラミック炭」に加工している。開発時に協力のあった事業者を総代理店として提携し、加工物全てを卸していた。

しかし事業開始後しばらくして、提携卸先の事情から取引がストップし、喫緊に販路の開拓を余儀なくされた。しかし、「セラミック炭」のみでの販路開拓は難しく、組合では企画検討を重ね「セラミック炭」をさらに加工し、一般市場（ホームセンター、小売店等）に並ぶ最終市場製品の商品化を行い、卸・販売先の対象の拡大を図った。そのような状況のなかで、従来の活性炭に勝る「セラミック炭」の特性とその効用を活かした商品は、環境問題、エコ社会等の社会的要請のほか、市場性の高さとライフスタイルにもマッチし、マスコミ等を利用した商品のPRで、工場視察が2千名を超えるなど社会的な関心も高く、市場の反響は予想以上に大きなものがあった。

### ■成 果

それにより営業圏域の拡大（全国展開）の他、最終消費者までを販売先として取りこむことでの市場の拡大も図られた。その結果、組合、組合員個々の営業努力もあるが、その企画力、商品力に支えられた販路、市場開拓となった。

組合では、さらなる市場開拓のため、既存の商品群の強化にも努め、常設の展示場等への出展を行う他、業界団体との連携の中での情報交換と製品PRを行うと共に、組合員も独自で販路の開拓に奔走している。また、現在では地元自治体からも強力な支援を得、「炭サミット」なるイベントを当地で開催するなど、地域ぐるみで「セラミック炭」とその商品のPRが行なわれている。